

彼らは戦場から帰れたのか！



戦場で一人の兵士と一匹の犬が小さな出会いをし、忘れられない絆で結ばれます。始まりが偶然なら、前触れなしに別れがくることを幼い命はどこかで学ぶものなのでしょうか。

揺りかご代わりにヘルメットが小さくなった時、別離の時はすぐそこです。



無事に帰ってきたパイロットを出迎えます。このブリストル
ファイター機は当時の最新鋭機でした。犬たちも鼻が高かつ
たはずです。その部隊のマスコット犬だったのでから。

イギリス空軍には愛犬を連れたパイロットは珍しくなかったといいます。



英国軍艦の帽子をかぶるブルドッグは英国海軍駆逐艦船長のマスコット。艦内での地位は並みの水兵よりひよっとしたら高いかも。「ビーナス」本人もそれを自覚した表情です。

「ひよっとしなくても高いぞ」の声が聞こえそうなくらい厳めしい顔。

犬は自分とほぼ同じ重量の荷物を運べると言います。鉄の柵を軽々とジャンプできているところを見ると、運ぶように命令を受けたのは弾丸ではなく紙の指令書だったようです。

ジャーマン・シェパードはイギリス陸軍でも戦時犬として活躍しました。

